



2 狭南橋跡 かつての「狭南橋」です。幅3.6 匁〜4



に狭南・大久保宅がありました。

匁、奥行き3 匁に満たない小橋です。橋の下には狭山丘陵の谷間からの前川が流れ、東村山市を経て柳瀬川に合流しました。橋を渡って坂を上り詰めた左側

3 下の大日堂 『狭山之栞』では「下の大日堂は原



あり」と記述されている。

口にあり 本尊石佛は胎蔵界の大日如来にして惣丈五尺。上の大日堂の金剛界に封し是は胎蔵界の大日と称す。銘に正徳二年壬辰(みずのえたつ・じんしん) 三月大清山本山修験持寶院とあり。境内村民及び大久保家の墓

4 清水集会所 (法印さん) 清水に持宝院という



うと懐に入れてしまいました。

修験の法印さんが居ました。江戸末期、馬に炭を付けて淀橋に運ぶ途中、成子坂下の馬宿で馬方が急にからんで来ました。「酒の肴にどうぞ…」と、真赤におこった炭を出しました。持宝院は少しも騒がず懐から半紙を出して炭火を包むと、ゆうゆう

5 上ノ台遺跡 旧石器時代(12000 年前)から、一度は

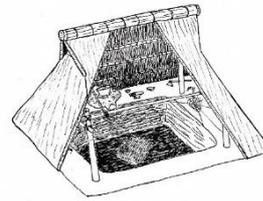


図1-3-10 第1号住居跡による中石器時代の遺跡の復元 (調査報告書上ノ台遺跡から)

途絶えながら平安時代(1000 年前)にかけて、長い間人が活動した地域です。上ノ台遺跡からは、17.5 匁の大型の槍先形尖頭器、農耕により攪乱された地層から出土した(1978 年)丸ノミ形石斧が発見されています。

6 三光院 新義真言宗、豊山派。輪王山三光院真福



の朱印状を保存しています。東大和市内寺院では朱印状を有するただ一つの寺院です。

寺、本尊・阿弥陀如来。狭山三十三観音第十六番。天正19年(1591)11月、徳川家康から朱印3石を賜り、以後、全12通

8 庚申 (三角) 神社 庚申神社(三角神社)は、清戸



街道と清水神社方面から江戸街道に通じていた道の交差する三角地にまつられています。中世から江戸時代にかけての交通の要所でした。祠の中に、2基の庚申塔があります。

9 清水神社 御祭神 素盞鳴尊・大己貴尊・稲田姫



す。氷川神社の創建は健保2年(1214)とされます。

命。村山貯水池建設により湖底に沈む旧地より、氷川神社と熊野神社をこの地に移座、合祀して「清水神社」と改称しました。大正8年(1919)ごろとされま

10 吉岡家住宅・国登録有形文化財 旧吉岡家住



亡くなるまでこの地で創作活動を行いました。

宅は、農家で名主を務めた池谷藤右衛門によって明治中期に建てられました。昭和19(1944)年、日本画家吉岡堅二が





うまべえ

清水地区コース

定番コース ⑤

- 1 武蔵大和駅（余水吐け）
- 2 狭南橋跡
- 3 下の大日堂
- 4 清水集会所（法印さん）
- 5 上ノ台遺跡
- 6 三光院
- 7 木下園
- 8 庚申（三角）神社
- 9 清水神社
- 10 吉岡家住宅
- 11 武蔵大和駅



清水地区コース 定番コース ⑤ 各ポイントの詳細はQRコードから

2 狭南橋跡



4 清水集会所（法印さん）



5 上ノ台遺跡



6 三光院



8 庚申（三角）神社



9 清水神社



10 吉岡家住宅

